

## ●再生可能エネルギーの導入状況

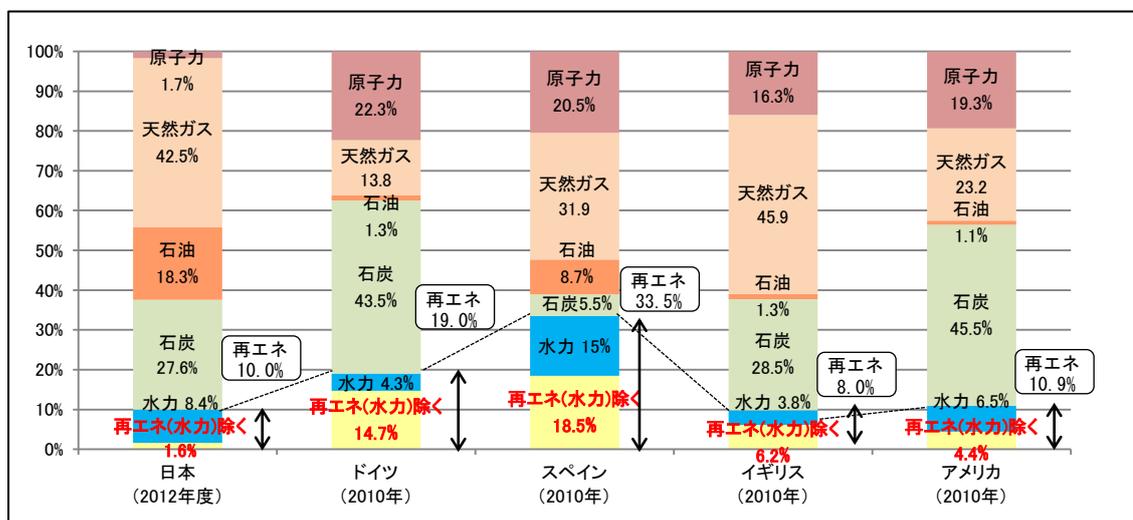
### 【経緯】

地球温暖化防止・温室効果ガス排出量の削減は政府をあげての課題となっており、再生可能エネルギーの導入と低炭素化社会の実現が求められています。また、東日本大震災を契機に電力の安定供給、非常時の電源確保という面からも、再生可能エネルギー導入への期待は高まっております。

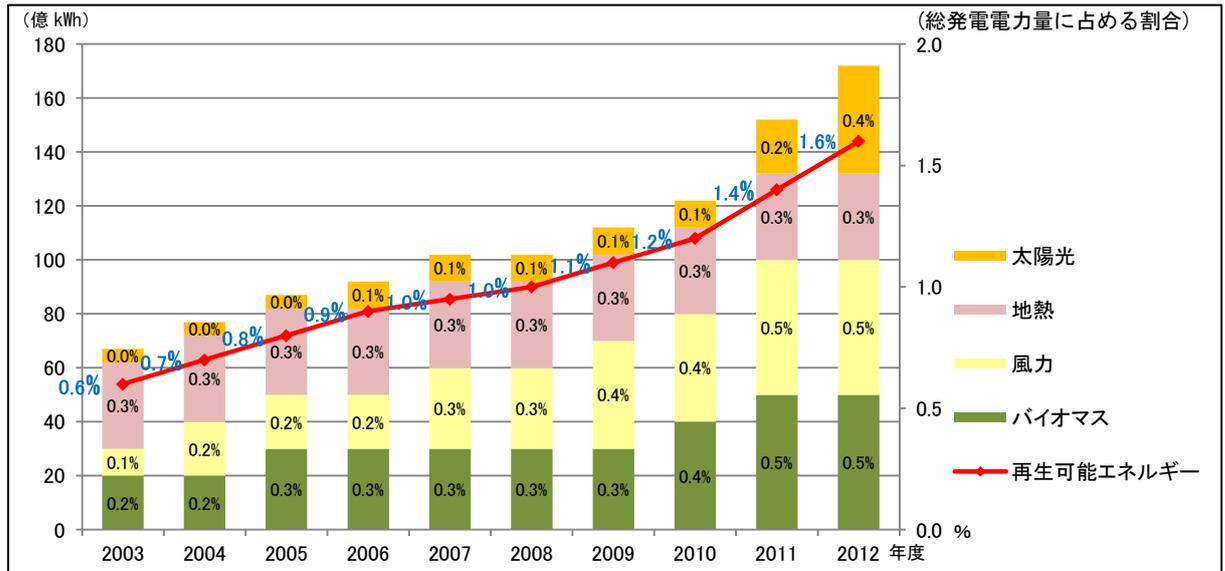
我が国の再生可能エネルギー導入状況（水力除く）の電源構成に占める割合は1.6%です（平成24年度時点）。一方、海外諸国における再生可能エネルギー導入状況は、スペインで18.5%、ドイツで14.7%、イギリスで6.2%、アメリカで4.4%となっています（平成22年度時点）。我が国は、海外諸国に比して再生可能エネルギーの導入量の割合が低水準であることがわかります。

### 【活動成果・状況】

太陽光の余剰電力買取制度の開始（2009年11月）、再生可能エネルギーを用いて発電された電気を国が定めた固定価格で電気事業者が一定期間買い取る義務を定めた固定価格買取制度（FIT）の施行（2012年7月）により、太陽光発電を中心に再生可能エネルギーは着実に導入が拡大し、2012年度の再生可能エネルギーの割合は1.6%に達しました。



電源構成に占める再生可能エネルギーの割合



日本の再生可能エネルギー導入割合

資源エネルギー庁 HP <http://www.enecho.meti.go.jp/>

(【生産・調達段階における論点】再生可能エネルギーの拡大より)